

【上映会】シアター・プノンペン

カンボジアの首都プノンペンに暮らす女子大生ソポンは、ある日、ポル・ポト政権下に作られた古い映画の存在と、そこに若き日の母が出演していたという事実を知る。そのフィルムを探すソポンは、独裁によって蹂躪された母国の映画史を解いていくことになる。



カンボジアに咲いた「幻の映画」  
それは夢と秘密にあふれていた

# シアター・プノンペン

ソト・クォーリーカー初監督作品



大弾圧の時代——  
眩しく輝いていた母の恋  
知られざる家族の真実!  
過酷な運命のなか半世紀を超えて  
命を賭けて守り抜いた一本の映画とは!?

●カンボジア映画界初の女性監督が描く  
壮大なヒューマンドラマ!

第27回東京国際映画祭  
国際交流基金アジアセンター特別賞

第3回(米)カンボジアタウン映画祭 最優秀作品賞 特別功労賞 ● 第17回(伊)ウディネ・ファーマーイスト映画祭ブラックドラゴン賞  
第5回カンボジア国際映画祭 タレント・アワード ● 第1回ASEAN国際映画祭&アウォーズ 助演男優賞

THE LAST REEL

● A HANUMAN FILMS PRODUCTION  
STARRING MA RYNET DY SAVETH ROUS MONY SOK SOTHUN HUN SOPHY DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY BONNIE ELLIOTT EDITOR KATIE FLAXMAN COMPOSER CHRISTOPHER ELVES SOUND DESIGNER BROOKE TREZISE  
EXECUTIVE PRODUCERS LLOYD LEVIN TAN SOTHO NICK RAY CHRIS WHEELDON ORIGINAL SCREENPLAY IAN MASTERS PRODUCERS SOTHO KULKIKAR IAN MASTERS MURRAY POPE DIRECTOR SOTHO KULKIKAR  
© 2014 HANUMAN CO. LTD

文部科学省選定(青年・成人向け)  
後援: 在日日本カンボジア王国大使館  
カンボジア市民フォーラム  
国際交流基金アジアセンター

マー・リネット ディ・サヴェット  
ルオ・モニー ソク・ソトゥン トゥン・ソービー

監督/プロデューサー:ソト・クォーリーカー  
脚本/プロデューサー:イアン・マスターズ  
プロデューサー:マレー・ポープ  
エグゼクティブ・プロデューサー:ロイド・レヴィン、タン・ソット  
ニク・クレイ、クリス・ホイランドン  
作曲:クリストファー・エルヴェス 音響デザイン:ブロードウェイ・レザイ  
編集:ケイティ・フラックスマン 撮影監督:ボニー・エリオット  
製作: Hanuman Films Co., LTD

日本語字幕:川喜多綾子 ムービング・タイトル:雨宮恒平  
宣伝デザイン:プランニングOM/オフィス63  
宣伝パブリシティ:スリーピン  
2014年/クメール語/カラー/105分  
配給:バンドラ

(原題 The Last Reel/ドラマ/105分/2014年/カンボジア/日本語字幕)

2018年1月21日(日) ①10:00~11:45 ②14:00~15:45

●大人400円 / 小中学生100円 ●各回定員120名 ●申込不要・当日先着 ●各回30分前に開場

●あーすぷらざ 5階 映像ホール ※定員に達した場合は入場できませんので、ご了承下さい

# シアター・プノンペン



カンボジアの首都・プノンペン。成長著しい街に暮らす女子大生のソポンは、封建的な考えを持つ父と、病を患う母との生活にうんざりしていた。授業をさぼってひとり街をさまようソポンは、バイクの駐輪場として使われている廃墟のような映画館へとたどり着く。古ぼけたスクリーンには自分とそっくりの少女が映し出されていた。



映画は、クメール・ルーージュがカンボジアを支配する前年、1974年に作られた未公開のラブ・ストーリー『長い家路』だった。クメール王国を舞台にしたおとぎ話のような映画に、ソポンは惹き込まれていく。ところが、内戦の混乱で映画の最終巻が紛失し、結末を見ることができない。ソポンにことの顛末を話すのは、映画館の主人で映写技師のソカ。ソポンは、ソカが実は『長い家路』の監督に違いないと思い、彼のもとで、映画の最後を撮り直せないかと思いつくが・・・。

第27回東京国際映画祭  
国際交流基金アジアセンター特別賞

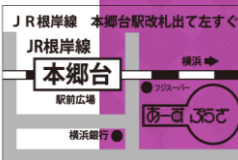
第3回(米)カンボジアタウン映画祭 最優秀作品賞 特別功労賞  
第17回(伊)ウディネ・ファーイースト映画祭ブラックドラゴン賞  
第5回カンボジア国際映画祭 タレント・アワード  
第1回ASEAN国際映画祭&アウォーズ 助演男優賞

幻想的な映画！私がカンボジアに行ったのは30年前、ポルポトに三百万もの人々が殺された少し後でした。この映画の母親役や映写技師はその中を生き延びた人達。ネオンサインの輝く今のプノンペン。主演の少女は、生き生きと女優だった母の隠されたフィルムを見る。そして紛失した最終巻を撮ろうとする。ラブストーリーでありながら悲しい過去を伝える壮大な作品。

私は夢を見ているように思った。

黒柳徹子さん(女優・ユニセフ親善大使)

私たちが地球に暮らす一員として、日々の生活の中で考え、  
自分にできる身近なことから行動していくための総合的な学習施設です。  
〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 指定管理者: 公益社団法人 青年海外協力協会  
gakushu@earthplaza.jp <http://www.earthplaza.jp>



神奈川県立地球市民かながわプラザ

あーる ぷらざ

Tel:045-896-2121